

ひろば大代

NO.390

大代まちづくり
センター

H24. 1, 11

新年明けまして

おめでとーございませう

新春に寄せて

センター長 畑 誠



新年明けましておめでとーございませう。町民の皆さまには、家族お揃いで穏やかな新春をお迎えのこととお喜びいたします。

平素、皆さまには、まちづくりセンターの取り組みに対して、ご支援ご協力いただき感謝申し上げます。

昨年、東日本大震災が発生し、津波による多くの犠牲者が出ました。併せて津波による福島原発事故は物も、そして心までも失わせようとしています。日本にとって悲しく暗いニュースが続きました。

ただ、そんな悲しい状況の中で、日本人の素晴らしさを実感する映像や報道があちこちで伝えられました。日本人の素晴らしさは「助け合いの心」と「絆」を大切にする民族です。

日本人にも利己主義が多くなり、地域の絆が薄くなったなど言われてきました。が、「日本人って捨てたもんじゃないな」と改めて感じました。家族のつながり、他人とのつながり、そして集団でのつながりをもっと深化するべきです。

地域の取り組みも「絆」をもっと大事にしたいと思えます。

町民の皆さま、さまざま意見をお寄せ下さい。お待ちしております。最後になりましたが、皆さまのご多幸ご健康を祈念しまして、新年のご挨拶といたします。

年頭の挨拶

連合自治会会長 佐藤哲朗



二〇一二年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、一年間大代町自治会運営にご協力頂き有難うございました。

昨年を振り返って見ると、三月十一日に、観測史上最大規模の地震が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を喪失し、大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展しました。大代町では、一月大田市教育委員会より大代小学校の統合に関し自治会長との意見交換会の開催要望があり、各自治会に持ち帰り検討して頂いた結果、本年四月一日から高山小学校との統合も止むを得ないという結論に至りました。

三月十八日に予定されている閉校記念式典に向けて実行委員会を立上げ、イベント、記念碑・記念誌作成等、大代小学校を有終の美で終わる為、種々検討しています。

二〇一一年を表す漢字「絆」の意味は「人と人との断つことのできないつながり」です。

大代町から、高校・中学校に続き、

また一つ教育の灯が消えますが、地域の絆・故郷と都市の絆を大切に、明るく活力ある大代町を目指し、まちづくりセンターを中心に、各種団体のご協力を得て取り組みたいと思います。今年もご支援のほど宜しくお願い致します。

昇竜の年と

なげますよつこに



大代高山会会長

木村幸司

新年明けましておめでとうございませう。どちら様も、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、高山会事業に対しまして、格別なるご理解と、ご協力を賜っておりますこと、衷心よりお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災、津波、津波にともなう原発事故。大自然の脅威を改めて知らしめると共に、命の尊さを身にしみて感じさせられた一年でした。本年は辰年です。「燃えよドラゴン」のブルース・リーのようになり、あらゆる難題に、辛抱強く立ち向かっていき

いと思います。ふるさと大代町のために、引き続きお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

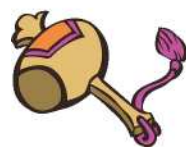
日本人は辛抱強く、助け合い、団結して、戦後の復興、阪神大震災からの復興、あらゆる試練から立ち上がってきました。今回の東日本大震災からの復興もあきらめることなく、懸命に努力されています。

諦めることなく、辛抱強く立ち向かっていく事は、古来からの日本人の特徴であり、すばらしいところです。

私たちも、復興に向け努力されている東日本の皆様に負けないくらいに、ふるさと活性化のために、力を合わせて頑張りましょう！

ふるさとに智恵と

絆で活力を



東京石見高山会会長

松本健一

朝は大宮の太鼓で夜が明けて、夕は浄土寺の鐘の音で日が暮れる。なんとのかな私達の「ふるさと大家」。

今時、この様な風情のある町が、村が、他にあったでしょうか？こんな、

ふるさとを私は愛し、自慢に想っています。ふるすとは遠くに在りて想うもの、とはよく云ったものです。

申し遅れましたが、私は、東京石見高山会に所属します「松本」と申します。この度、東京石見高山会の会長と云う大役を課せられ、なにかと戸惑っております。大代に生まれ育ったからには、この役も私の宿命と思い、お引受けするに至りました。足らずながらもご期待に添うよう精進いたすつもりです。ふるさと大代の皆様、関西、東京の皆様、新年の挨拶を兼ねさせて頂きながら、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、春は、千年に一度と云われた東日本の大震災、人災に等しい安全神話の崩れた原発事故そして夏の終りの「豪雨」と、直接あるいは間接的にも被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。そして、今年も夢のある明るい日本になります様祈念します。

我々が生を受けて何十年たっても当たり前にある私達の「ふるさと」を改めて見つめ直し、思い出しながらこれ

からもズーと大切にしたいものです。ふるさと大代につきましては、今年度我々の母校、小学校が廃校になること。世の流れには逆らうことも出来ません。少子化の時代、大代地区の宿命としか云い様のないことと思いません。個人的には、生まれた時に有った、小中学校の母校が無いとなればなんとも寂しい限りです。寂しいからと下ばかり向いてもおれません。みんなで上を向いて「三人寄れば文殊の知恵」大代を中心として三つの高山会で知恵を出し合って、明るい活気のある大代に出来たらと思います。

ふるさとに感謝をしながら皆様との絆を大切に、大代の活性化を祈念致します。本年もよろしく願います。

有終の美を飾る年にしたい！



大代小学校校長 多田房明

明けましておめでとうございます。

新しい年・平成二十四年がスタート

しました。すでにご承知のように、大代小学校は、本年「閉校」という大きな節目を迎えます。現在、三月十八日の記念式典に向け、閉校記念事業実行委員会を中心に、様々な準備を進めています。「閉校記念誌の編纂事業」もその一環です。

年末、沿革史をまとめるため、「大代小学校百年史」に掲載された昭和五十年以後の資料に目を通す機会がありました。その過程で、『全日本健康優良学校として全国表彰』、『島根県花いっぱい小中学校コンクールで何度も最優秀賞受賞』、『大田市連合運動会Aの部で十一年連続総合優勝』といった歴史が刻まれていることを確認しました。

これらの輝かしい歴史は、当時在籍した児童・職員の努力と地域の皆様のご理解・ご支援があったからこそ、成し遂げられたと思います。

現在、大代小学校では「地域のすばらしさを見つめる、ふるさと学習」を通して、『自分の思いを表現できる子』『誰とでも仲良くできる子』の育成に努力しております。子ども達が自信を

持つて新高山小学校に通学できるよう、これからも全力投球していきます。本年も、よろしく願います。

野田首相に期待する

寿会会長 日向 良



平成二十四年を恙無く迎えられた事を皆様と共にお慶び申し上げます。

昨年は、三月十一日の東日本大震災、そして未曾有の大津波、それに伴う東京電力福島原発事故等々、枚挙に暇がない。その対応の不手際により、菅内閣は総辞職をした。

二〇〇九年に自民党から民主党から政権交替したものの、わずか二年足らずで鳩山、菅氏に続き三人目の首相に野田さんが選出されたことは皆さんも記憶に新しいことと思います。野田さんの公約は『党を挙げた態勢をつくり、国民の為にしやにむに働く政治を実現していく』と言っている。

然しながら問題は山積みである。山陰中央新聞によれば『門前の虎、後門

には狼』という大変おもしろい記事が載っていた。つまり虎と狼とは党内でのごたごたと衆参での与野党の勢力が異なることを意味する。

何れにしても、野田首相のしやにむに働く姿勢を貫いて欲しいものだ。大いに期待している。

新年

明けまして

おめでとーうございます



婦人会長 佐藤京子

大代町の皆様には日頃より婦人会活動にご理解、ご協力を頂き心より御礼申し上げます。

大代のシンとした冷たい空気は、元旦の心も体も清めてくれます。

昨年の震災では、人は必ず復興するのだという確信をされた方も多いのではないのでしょうか。個人の復興しようという計りしれない姿勢と日本全国の人々の絆。何かをしてあげようという身体の中を突き動かすものが沸き起るものです。

何もかもが人事ではない今の世の中、明日は我が身の出来事、人事とは思わず、教えを身につけて日々、生活をしていきたいものと思っております。

本年も婦人会会員一同穏やかに笑顔を絶やさず、仕事を惜しむことなく、精一杯努力していくことを目標に励む所存でございます。今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

本年もよろしく

お願い致します

大代駐在所 金築 努



大代町の皆様、新年明けましておめでとうございます。

日頃は、警察業務にご協力・ご理解を頂き、誠にありがとうございます。

昨年は東日本大震災、それによる福島原発事故等、心を痛めることの多い年でした。皆様のご家族・ご親戚・お知り合い等被害に遭われておられましたら心よりお見舞い申し上げます。

大代駐在所管内では、8月に自動車盗難があった以外は大きな事件事故も

無く比較的平穏であったように感じています。

県内では高齢者が被害となる、交通事故や振り込め詐欺が発生しています。

大田市内では、「キャッシュカード受取型オレオレ詐欺」や「社債取引名目の利殖勧誘・振り込め類似詐欺」など新しい手口の詐欺が発生しています。自分は大丈夫だと油断せず警戒をお願いします。

今年も地域の皆様の「安心」「安全」のために日々頑張つて行こうと思ひます。よろしくお願いします。

新春を迎えて

大家郵便局長 渡 剛至



新年あけましておめでとーうございます。ご家族お揃いで清々しい穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大家郵便局に対しまして、格段のご理解、ご協力を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

また、郵政民営化以降に様々な住民

サービスが低下する中で、本来、採算も取れない地域の郵便局の存在すら危ぶまれている昨今において、廃局どころか、局舎を新築され存続することは、平素より皆様方が、歩いて、車で、バスでわざわざ大家郵便局にお出かけいただき、ご利用していただいた事の証しだと重ねてお礼申し上げます。

さて、平成二十三年十二月十二日（月）の新局舎落成セレモニーを開催しましたところ、大勢の皆様方にご参加の上、式典を盛り上げていただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、ご来賓の大田市長様はじめ多くの郵便局関係者も、人の多さや盛り上がりで驚かれ、大代町民の郵便局に対する想いや期待感に感心されると同時に、信頼・愛されている郵便局だとの印象を与えていただくことができました。局舎の新築と地域の皆様方の日頃からの応援に、何よりの喜びを感じさせていただきました。

旧局舎は、昭和二十八年に、当時の最先端の耐震技術で新築された局舎でしたが、耐震強度等の問題により、ご利用者の皆様の安全を最優先し、新築

されることになり、誠に残念ながら、五十八年の長きにわたり皆様方に愛され、親しまれた郵便局らしい局舎でしたが、惜しまれつつ、別れを告げることとなり、去る十二月二十六日に旧局舎は、影も形も無くなってしまい広い空き地が出現しました。

新しくなりました局舎は、窓口ロビ―は広く、大きな窓で開放感あふれ、カウンターも低く設計され、皆様にご利用いただきやすい造りとなっております。更には、局舎の前の広い空地は駐車場に整備され、車でお越しのお客様には、安全で、安心してご利用いただけることになっております。

まだまだ、工事は継続し、近隣の皆様、ご利用いただき皆様に大変ご迷惑をおかけすることになりますが、平成二十四年三月十五日には全ての工事が終了し、ニュー大家郵便局がスタートします。もうしばらくのご辛抱とご理解・ご協力をお願い申し上げます。

地域には無くてはならない存在として、明治十七年の開局以来、百二十八年の伝統を引き継ぎ、地域のため、ご利用いただくお客様のために、更に発

展していくよう、一層の努力を重ねてまいりますので、今後とも、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻、更にはご利用のほど、お願い申し上げます。

新春のご挨拶

大代消防団分団長 坂本静雄



平成二十四年の輝かしい新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には消防活動に対し、ご協力・ご理解をいただき深く感謝申し上げます。また消防団員におかれましては常日頃、地域の安心安全を守るため、日夜献身的なご尽力をされている事に対し、心から敬意を表します。

さて昨年を振り返って見ると、火山噴火の多発、桜島新燃岳、千年に一度とまで言われる東日本大震災マグニチュード9.0という国内観測史上最大の地震、大津波、原発事故、この災害多発列島に最近極端な気象により、ゲリラ豪雨や、大型台風、猛暑が目立つようになりました。

国内最大雨量を記録した台風12号、

愛知県など122万人避難勧告の出た15号、国内外問わず大きな災害をもたらしました。

極端な気象については、もはや自然災害防止には限界があり、災害発生状況を早くキャッチして、災害襲来には、どこに避難するか究極の判断をし、常に自宅で、どう行動するか、家族で考えを話す習慣を想像力で、災害に備えたいものです。

又消防団自身、地域防災の中核となるよう防災訓練を受け複雑多様化する災害に備えてまいります。そして引き続き関係機関との連携を図りながら安全・安心な町を目指してまいります。最後に住民の皆様がますますご壮健で一層の活躍をしていただきませうようお祈りしまして年頭の挨拶と致します。

新しい共同。 新しい経営で新しい農業を

大田市農業委員 横手新治郎



町民、並びに「ひろば」をご愛読の皆様には、ご家族おそろいで健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び

を申し上げます。

昨年の東日本大震災と、これに伴う原発事故は、広範囲に及び、農産物の出荷停止や自粛を余儀なくされた農家、「風評被害」に苦しむ農家、また、そうなるかと心配されている農家も全国に及んでいると思われまます。さらに年末から追い討ちを掛けるように、農家だけでなく食の安全や医療制度、環境など暮らしを「めちやくちや」にする恐れのあるTPP（環太平洋経済連携協定）に政府は前のめりになり、適切な情報を公開しないまま協議が進められています。年賀状にもすなおに「おめでとう」と書くのが、気が引ける新年の幕開けです。農業団体挙げて反対運動を展開していますが、私たち農家も今後の交渉経過や政府の対応に目配りをしていくことが求められます。

大代町のような中山間地は、日本の国土の72%もあり、関税撤廃を原則とするTPPに参加すれば、日本の農業は完全に崩壊し、10年20年後、農業は誰がやっているのでしょうか。次の世代がやる気を持って、農業と、地域の伝統、文化を引き継いでいけるように

しておくことが、今の我々の大きな使命だと思えます。

「自分たちのことは自分たちで守る」ということを基本にして、新しい共同、新しい経営などについて、集落、地域で話し合いを深めることが最も必要と思われまます。地域にあっては既にその歩みが始まっているところがあります。色々な会合などでTPPの交渉経過などについて話し合い、地域、農業などの進むべき路を模索しましょう。災害被災地の一日も早い復興と中山間地域が再生に向かうことを願うとともに、新しい年が皆様にとりましてより充実した、良い年になりますようご祈念申し上げます、年頭に当たってのご挨拶といたします。

「クラム」

兵庫県書店商業組合

理事長に就任した

山根金造さん紹介記事



全国の書店売場総面積は、この20年ほどで1.6倍に増えた。一方書店の数は4割減った。

「大型店に押され、中小書店の多くが『いつ店を畳もうか』と考えているような状態。このままでは街から”本屋のおっちゃん”が消えてしまう」。手軽に書籍を購入できるネット販売市場の急成長もあり、業界を取り巻く環境への危機感は強い。

かじ取りを託された組合(178店)組織活性化に全力を注ぐ。「値引き販売防止など後ろ向きな議題が多かった」という理事会で「もういつぺん前を向こう」と呼び掛ける。

書店生き残り策を考える勉強会、40〜50代の若手組合員による研修会の設置、支部単位の作家講演会…。

新たな活動を打ち出す一方で、神戸市内にあった組合事務所は思い切って閉じた。限りある組合の財源を、目に見える活動に投資するためだ。

26歳の時、勤めていた機会メーカーを辞め、明石市のJR大久保駅前に7坪の「巖松堂書店」を開いた。それから40年。今春までの12年間は市議会議員を務めながら、店を守ってきた。根底には「本で知識を得て実践する。この繰り返しで人生は広がる」という揺るがぬ信念がある。

るがぬ信念がある。

店の2階にアカシゾウの化石などをずらりと飾る熱心な考古学ファンの顔も持つ。地元のまちおこしを目的に考案した「明石原人祭り」は20年続く人氣イベントとなった。

「かつて、本屋のおっちゃんには、郷土史研究など地域で存在感を放つ人物が多かった」。自らがその一人でもある。島根県大田市出身65歳(小林良多・文) ≪23年11月26日神戸新聞より抜粋≫

俳句

あすなる句会

下市 渡あやこ



健やかに映りて感謝初鏡

初鶏の一声長く風に乗り

柿田 横手いちえ

清々し四方に広がる初菫

笑う子も泣く子もありて初写真

八反田 森 信子

お互いをいたはり歩む初詣

書初や一筆夢を託しけり

椿 花田時子

初暦早や赤丸の付けてあり

六十年面影偲び賀状書く

下市 今田文子

幼等は母の真似して初鏡

初書の太字元気に小学生

川上 岩田律枝

過ぎたれば短き月日初暦

二日早孫も子も行き部屋広し

本郷 和田貴和子

初句会膝をまじへてなごやかに

元朝の東の空へ手を合はす

椿 柿丸寿枝

初明り刻む柱の古時計

注連張りて太き神木初御空

2月行事予定



* * * * *

▼5日(日) 婦人会支部長会

▼12日(日) 福祉弁当

▼14日(火) 出張申告相談

受付午前13時〜午後16時まで

まちづくりセンターにて

▼23日(木) 連合自治会

編集後記



新年を迎え、昨年同様皆様からのご支援・ご協力とご寄稿をお持ちしております。本年も宜しくお願い致します。